

全頭検査

政府に要望

民主WT合同会議

民主党農林水産部門酪農・畜産ワーキングチーム(WT、仲野博子座長)と原子力災害に関する農林水産物被害緊急対策WT(郡司彰座長)は20日、合同会議を開いた。高濃度の放射性セシウムを含む稲わらを食べた牛が流通した問題で、全頭検査や国の買い上げなど、牛



番組終了

この旅はありがとうございました

——水戸黄門

(山梨・南部茶太郎)

海綿状脳症(BSE)対策と同様の措置を政府に求めた。

会合ではJAグループ福島肉牛振興協議会や福島牛を育てる会、全国肉牛事業協同組合が産地の窮状を訴えた。原発事故で「風評被害」が続く中、東京電力からの補償がないことや、政府からの情報が不明確な点に憤りの声が続出した。

山田正彦前農相は「全頭検査と国による立て替え払いを早急に行い、牛肉の調整保管も検討すべきだ」と農水省に強く求めた。

議員からも「機器の経

費を借しまさず、すべて全頭検査に着手すべきだ」

(石山敬貴氏)、「全地域同じ条件で検査しなければ国民の理解が得られない」(山岡達丸氏)など意見が相次いだ。